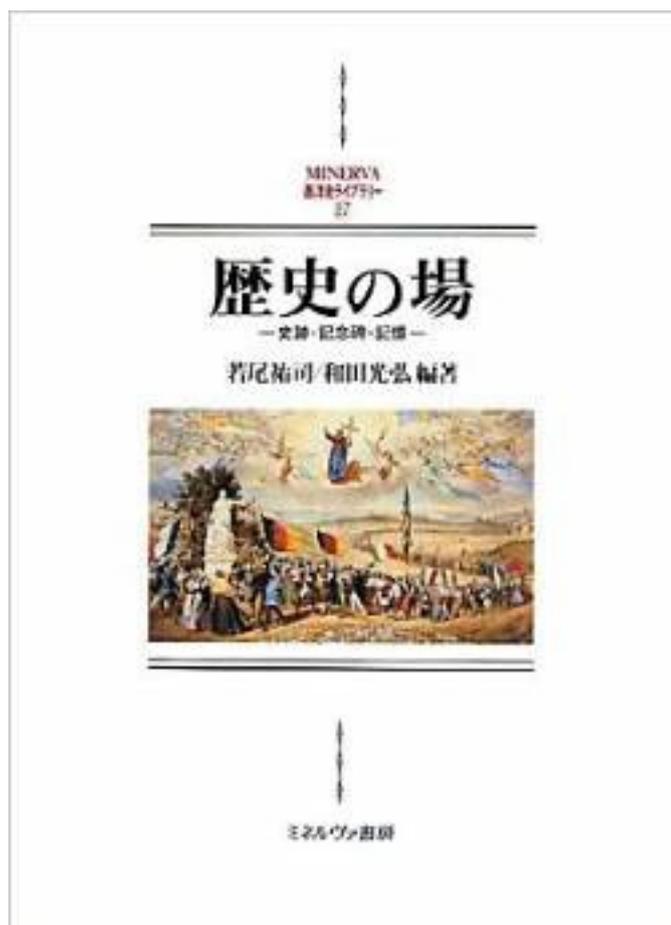


# 歴史の場



[歴史の場 下载链接1](#)

著者:若尾 祐司

出版者:ミネルヴァ書房

出版时间:2010-5

装帧:平装

isbn:9784623057344

本書は史跡と記念碑、墓所と墓地、過去の歴史の現場や現物など、多種多様なモニュメントとメモリーの事例研究であり、時間を超えて伝承される過去の反芻・再発見プロセス、また国民的な空間を越えて広がる、記憶の成層化プロセスを浮き彫りにする

。事例研究は、ワシントン家の墓所やミュンヘン聖母教会の皇帝墓、ニューヨークの「黒人墓地」とパリのペール・ラシェーズ墓地など。

作者紹介:

若尾/祐司

1945年岐阜県生まれ。1972年名古屋大学大学院法学研究科博士課程中途退学。法学博士。現在、放送大学愛知学習センター所長。名古屋大学名誉教授

和田/光弘

1961年広島県生まれ。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程中途退学。博士(文学)。現在、名古屋大学大学院文学研究科教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: 第1部 アメリカ(眠れぬ死者ーポカホンタス・ヨークタウン・ワシントン  
奴隷制の記憶とニューヨークローワーマンハッタンのアフリカ人墓地保存問題  
海賊の息づく港町ポートロイヤル  
イギリス領北米植民地はの移住の経験と記憶ーニューヨーク・パラティン人移民の軌跡)  
第2部 イギリス(ニュートンのりんごの木ー記念樹の誕生  
救済と恥辱の場ワークハウス  
リブ・ラブ派経営者とトマス・ブラッシー二世追想)  
第3部 フランス(パリ街角の肖像ー記憶を反芻する意味と意義  
パリの墓地ペール・ラシェーズ)  
第4部 東欧・北欧(神への感謝と英雄の顕彰ー対ナポレオン「祖国戦争」後のロシア  
メンデルを顕彰する都市ブルノ  
カレリアの記憶ーソ連・フィンランド戦争とシベリウス)  
第5部 ドイツ(ミュンヘン聖母教会の皇帝墓  
改革派教会会議の記憶ーエムデンの事例  
四八年革命とケルン大聖堂建設際  
アジア探訪者ケンペルの顕彰史  
世界大戦の記憶ーフランクフルト・アム・マインの戦争記念碑  
世界に広がる記憶「広島」ー一九五〇年代のドイツ語圏から)  
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[歴史の場\\_ダウンロード1](#)

标签

记忆研究

文化遗产

文化保育

评论

-----  
[歴史の場\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[歴史の場\\_ダウンロード1](#)